



平成 24 年 12 月 20 日
横 浜 市
東京急行電鉄株式会社

報道関係者 各 位

「次世代郊外まちづくり」の主要な取組として 「スマートコミュニティ推進部会」を立ち上げました！

～ 第 1 回部会を 12 月 11 日、たまプラーザにて開催～

趣 旨

横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」という。）は、今年 4 月 18 日に締結した「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定に基づき、「次世代郊外まちづくり」の主要な取組として、「スマートコミュニティ推進部会」を民間企業等と共同で設置することとし、第 1 回部会を 12 月 11 日に開催いたしました。

本部会は“W I S E C i t y ”をコンセプトに掲げ、快適かつ省エネルギーな街づくりを目指して、たまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘 1～3 丁目）を対象に、既成市街地における生活者中心のスマートコミュニティ化を目的としております。

横浜市では、「次世代郊外まちづくり」の取組を、環境未来都市計画の主要なプロジェクトに位置付けていますが、スマートコミュニティ推進部会の取組には、これまで積み重ねてきた、横浜スマートシティプロジェクト（YSCP）等の実証実験の成果を活かして、本格事業につながるよう推進していきます。

W I S E C i t y : Wellness、Intelligence & ICT、Smart & Sustainable、Ecology & Energy の頭文字をとった造語。賢いまちづくりという意味も込めています。

「スマートコミュニティ推進部会」の概要

「スマートコミュニティ推進部会」の参加者は、下記の通りです。また、この部会は国立大学法人東京工業大学先進エネルギー国際研究センター（柏木孝夫センター長）の支援と助力を得ていきます。

（1）目的

本部会は、快適かつ省エネルギーな街づくりを目指し、既成市街地における生活者中心のスマートコミュニティ化を目的としています。

短期的には、たまプラーザ駅北側地区内に居住する住民と地域ぐるみでの家庭内エネルギー管理システム（H E M S ）やマンションエネルギー管理システム（M E M S ）の導入、エネルギーの見える化（省エネルギー・ネガワットキャンペーン）を目指します。中長期的には、地域エネルギー管理システム（C E M S ）・自律分散型・地産地消のエネルギーシステムの構築を目指します。

（2）部会の構成

参加企業（平成 24 年 12 月 11 日現在）

イッツ・コミュニケーションズ株式会社

株式会社 NTT ファシリティーズ

横浜市・東急電鉄

横浜市温暖化対策統括本部

JX 日鉱日石エネルギー株式会社

株式会社 東芝

横浜市建築局

東急建設株式会社

東京ガス株式会社

東京急行電鉄株式会社

日産自動車株式会社

株式会社 ビットメディア

国立大学法人東京工業大学先進エネルギー国際研究センター

H E M S : 「家庭 : Home」内のエネルギー管理システム (Energy Management System) の意。

家庭のエネルギー消費機器をネットワークで接続し、稼働状況やエネルギー消費状況の可視化・監視、自動制御等を行う。

M E M S : 「マンション : Mansion」全体の、エネルギー管理システム (Energy Management System) の意。

C E M S : 「地域 : Community」全体の、エネルギー管理システム (Energy Management System) の意。

マンションや住宅、電気自動車 (E V) 向け充電スタンドなどを統合して運用する。

E M S : エネルギー管理システムを意味する英語 (Energy Management System) の頭文字をとった略語。
管理対象の頭文字を加えて、H E M S ・ M E M S ・ C E M S という名前がそれぞれ付けられているが、エネルギーの需要と供給を可視化し、コントロールするというシステムの基本は共通。
省エネルギー、C O 2 の削減や、利便性の向上を目的とする。